

# 新産会



新世代産業研究会 / 発行  
発行責任者 山田 茂 樹  
編集責任者 他力 博  
平成22年9月1日 発行

共に国際社会を生き抜く、一期一会

<http://www.shinsankai.gr.jp>

## 行事・研修のご案内

### 家族交流会

- 日 時 9月24日（金）午後6時～8時30分
- 場 所 名古屋国際ホテル 最上階スカイルーム  
名古屋市中区錦3丁目23-3  
TEL(052)961-3611
- 参加費 大人 5,000円  
小人 2,500円（未成年）
- 内 容 会員家族も含んだ懇親交流会  
ジャズ、会員参加のライブ等盛り沢山です



### マツタケ杯

- 日 時 10月1日（金）午前8時集合 8時38分スタート
- 場 所 <ゴルフ>「緑ヶ丘カンツリークラブ」  
〒463-8505 名古屋市守山区吉根字長廻間3251  
TEL(052)795-1111  
<パーティー>「彩月」  
名古屋市中区錦3丁目東和ロイヤルビル1階
- 参加費 コンペ参加 5,000円（プレー代は各自精算）  
懇親会費 8,000円



### 海外研修

- 日 程 12月4日（土）～12月7日（火）  
（視察地都合のため、日程が変更になりました）
- 行 先 シンガポール
- 費 用



※上記の各研修についての申込用紙が裏面にありますので、ご利用ください。

## 理事会開催時の講演会(第35回)

講師：藤井敏夫 様 (財) あいち産業振興機構 理事長

日時：平成22年8月10日(火)

演題：「中国・上海の可能性を探る ～上海崇明生態島国際フォーラム参加報告」

崇明島は揚子江河口部の三角州島で、中国で3番目に大きい島です(1200平方キロ)。急成長を続ける上海市にあってこれまで大きな開発がなされてきませんでした。中国政府はこの島全体を「生態島(≒環境島; エコアイランド)」として環境保全と開発を両立させるモデル地区として取り組んでいます。その構想の概略は①生態平衡島(ラムサール条約登録湿地保全、生物生息空間再生)②資源循環島(水循環、廃棄物リサイクル)③生態産業島(生態農村整備、リゾート施設)④低炭素型社会システム島(万博交通システム、太陽光・風力発電)・・・等です。こうした環境を基軸とした理念・構想は極めて魅力的なものです。実現に向けての課題も山積しています。愛知の経験、技術が生かせないか模索することが重要です。

つぎに、中国・上海は今後(万博後)どうなるかですが、「社会主義経済」と「市場経済」のハイブリッド型経済は歴史上初めてのことで、急成長の後のバブル崩壊が懸念されてもおります。ただ、中国は現在日本の最大の貿易相手国でリーマンショックからの回復基調も中国抜きには考えられず、この基調は当分続くことが予想されます。WIN-WINの関係を求め、絶えず市場進出の可能性を追求することが重要です。今後は中小企業も海外ビジネスへの展開は避けて通れないものになります。あいち産業振興機構でも様々な施策を用意して中小企業の皆様を支援してまいります。どうぞご利用ください。

(22期 熊澤鉄郎)



(スケールの大きなお話でとても興味深いものでした)



(藤井様には懇親会にも参加いただきました)

### \*\*\* 参加申込書 (〇印をつけて下さい) \*\*\*

- |              |        |    |         |
|--------------|--------|----|---------|
| ■ 家族交流会      | 参加     | /  | 不参加     |
|              | (参加の場合 | 大人 | 名 小人 名) |
| ■ マツタケ杯(コンペ) | 参加     | /  | 不参加     |
| 〃 (パーティー)    | 参加     | /  | 不参加     |
| ■ 海外研修       | 参加     | /  | 不参加     |

期 氏名

FAX (052) 361-8360  
(株)みずほ合成工業所 後藤敏公 行き

※参加受付は新産会メーリングリストでもお受付しています。ぜひご利用下さい。

# 中国上海万博視察研修のご報告

会長 山田 茂樹

中国上海研修のご報告が遅くなりましたが皆さま方にご報告申し上げます。  
日程 7月31日（土）より8月2日（月）まで行ってきました。  
天候 毎日良好、温度は38度前後、暑かった。

31日午前便にて上海へ到着、市内観光へ数か所専用バスにて出かけました。私は4カ月ぶりの上海でしたが、道路などインフラ整備はドンドンすすんでいます。江浦川の下を抜けるトンネルもたくさん増えていました、街並みも名古屋と大きく違いとても立派です。さすがに国際都市上海であります。

また、香港と同じようにレストランはすべて禁煙となり、中国人はたばこを吸わなくなっています（道路、歩道もきれいです。タンモはかなくなっています）。さすがに万博効果絶大。夜は雑技団（サーカス）見学組とカラオケ組とに分かれました。

カラオケ組は5人でしたが会費を2万円払い、大いに盛り上がりました（現地の知り合いをお願いしていたため、色々オプションが有り深夜まで歌やダンスで汗だくになり、皆興奮気味でした）。夜食も食べきれないほどの量でした。



日本産業館前での集合写真



日本産業館前の4時間待ちの  
アナウンス看板

2日目は万博の見学会です。現地ガイドの計らいで遅めの入場（10時30分）にしたのが功を奏し、楽々スムーズにゲートをくぐりました、会場はとてつもなく広大であり、5か所にゾーンが分かれていました。

最初は日本産業館へ行きました。なんと4時間待ちです。入口付近に日本のボランティア

ガイド（なんと名古屋人4人組女性）と御話と記念写真をお願いして入場はあきらめました。その後は韓国館等を見学、昼食は韓国料理（とても空いていました）。次のブースへは無料フェリーにて対岸に渡り、待望の日本館（3時間30分待ち）は紫色で虫の形でみょうに品が良かったです、北



日本産業館前で日本語ボランティアガイドと一緒に（名古屋出身の方たちだそうです）



は紫色で虫の形でみょうに品が良かったです。北朝鮮館もありました。来館記念の写真を撮ってもらい私は満足し、中朝記念バッチ購入し、シマチョゴリのおねえさんの優しい応対に満悦。

その後はベトナム館、中東、アフリカ諸国の館などを見学いたしました、中国館はとても立派で人気がありました、長蛇の列にあきらめ。やっぱり万博は3日間位の見学日程がないと無理かな。

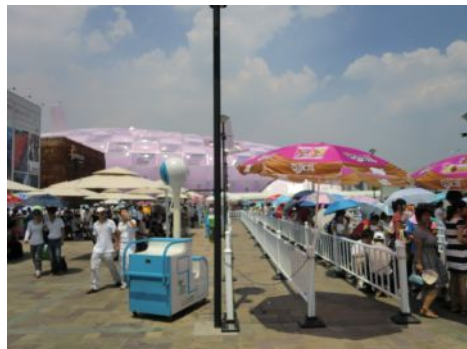
2日目の夜の観光は遊覧船観光組とマッサージとカラオケ組にわかれ各々楽しみました。今宵締め、火鍋料理はサービス満点の女性達も一緒に食しました。遅い組は朝帰りの組もありました。



万博会場のマップ (看板)  
AからEまでの5ゾーンに分かれている  
(一日ではとても見られませーん)

最終日は、東洋一高いビルである「森ビル」の展望に行きました、100階から見る上海市内の眺めはやはりすごかったです。「新天地」にも行き、皆揃って洋館スタイルの中国料理（現代版）を食し満足でした。

今回の視察旅行はあらためて中国上海の経済成長の目覚しさに驚きと脅威を覚えたのは私一人ではなかったと思います。



日本館（奥の蕨の形をしたピンク色の館）  
の前での大行列



直ぐに入れる北朝鮮館  
(手前の建物が板門店のよう)



目の当たりにすると圧倒される大きさの  
中国館 その1



目の当たりにすると圧倒される大きさの  
中国館 その2